



MacBook Air 11" Late 2010左スピーカー交換

MacBook Air 11" Late 2010の左スピーカーを交換します。

作成者: Andrew Bookholt



はじめに

MacBook Airの壊れた左スピーカーを交換するにはこのガイドを使用してください。

 ツール:

- MacBook Air 星形ペンタローブネジ用ドライバ (1)
- スパッジャー (1)
- T5トルクスドライバー (1)

 部品:

- MacBook Air 11" (Late 2010/Mid 2011) Left Speaker (1)

手順 1 — 下部ケース



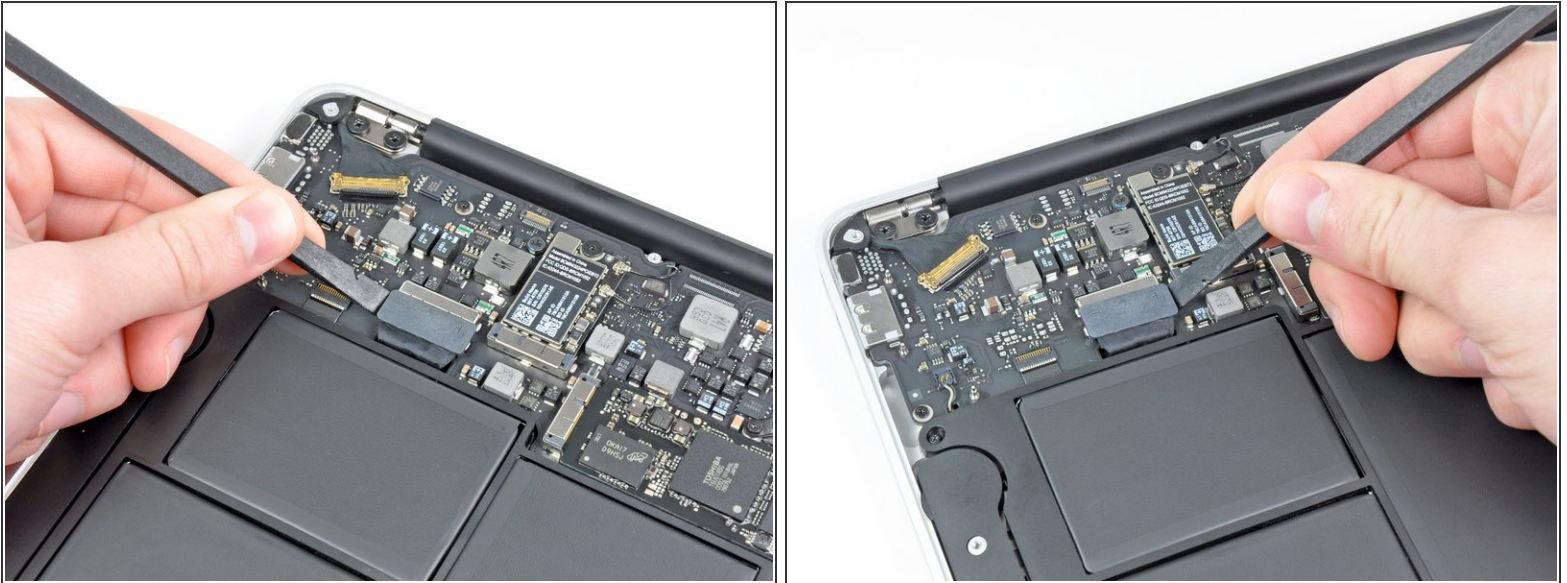
- ✦ 作業を始める前に、コンピュータを閉じて、柔らかい表面の上に置いてください。
- 次の10本のネジを取り外します。
 - 8mm 星形ペンタローブネジ 2本
 - 2.5mm 星形ペンタローブネジ 8本
- i 8本の星形ペンタローブネジを取り外すために必要な特殊ドライバーは、[こちら](#)です。

手順 2



- ディスプレイと下部ケースの間に指を入れ、上に引っ張って下部ケースを本体から外します。
- 下部ケースを取り外して脇に置きます。

手順 3 — バッテリー



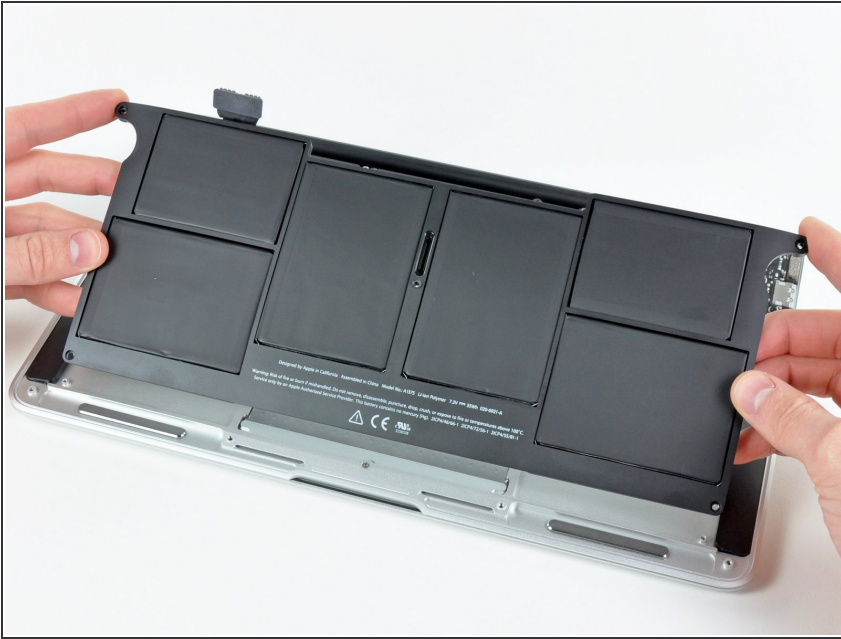
- ナイロンスパジャラーの平らな端を使用して、バッテリーコネクタの両側を上を持ち上げ、ロジックボード上のソケットから外します。
- ロジックボードからバッテリーケーブルを少し曲げ、コネクタが誤ってソケットに接触しないようにします。

手順 4



- バッテリーを上部ケースに固定している以下の5本のネジを外します。
- 5.2 mm T5トルクスねじ (六角星ねじ) 2本
- 6 mm T5トルクスねじ (六角星ねじ) 1本
- 2.6 mm T5トルクスねじ (六角星ねじ) 2本

手順 5



⚠ バッテリーを取り外す時は、露出している6つのリチウムポリマー電池部分を、握ったり触ったりしないでください。

- バッテリーをロジックボードに近い上端から持ち上げ、上部ケースから取り外します。

★ この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[カリブレーション](#)を行なってください。

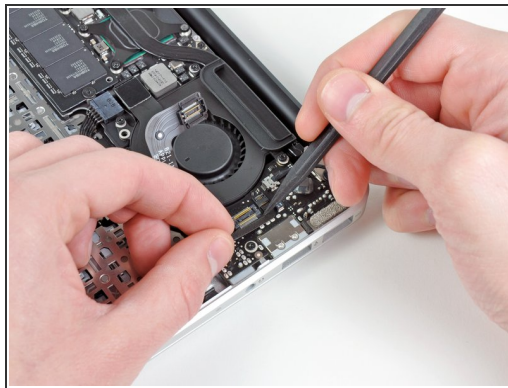
- 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
- 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook Pro のSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

手順 6 — 左スピーカー



- スパッジャーの平坦側を使いI/Oボードケーブルコネクタを上方に持ち上げI/Oボード上のソケットから外します。

手順 7

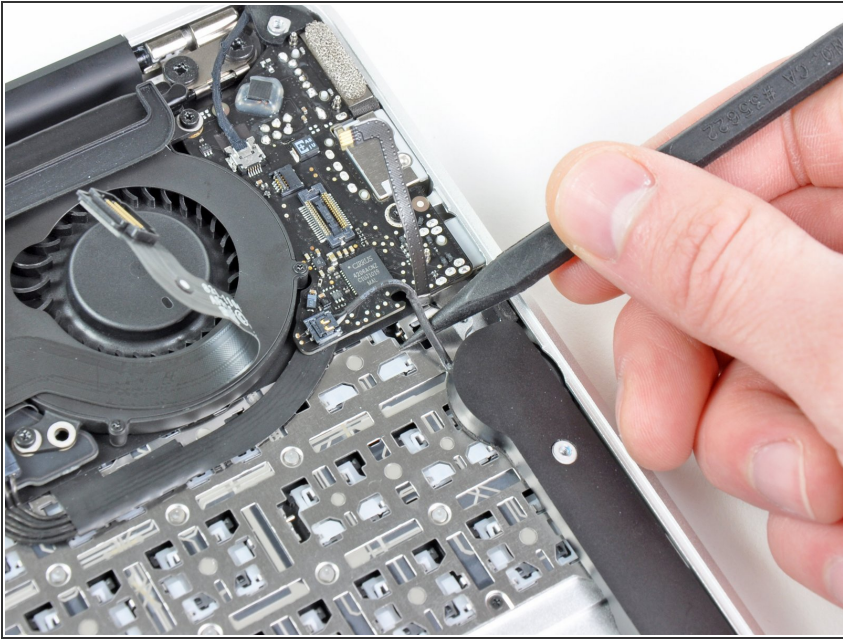


- スパッジャーの先端を使いマイクロフォンリボンケーブルZIFソケットの保持フラップを持ち上げます。

⚠ ソケット自体ではなく、ヒンジのある保持フラップを持ち上げているか確認してください。

- マイクロフォンリボンケーブルをソケットからまっすぐ引き抜きます。

手順 8



- スパッジャーの先端を使い左スピーカーケーブルをI/Oボード端の切り込みから外します。

手順 9



- スパッジャーの平坦側を使い左スピーカーコネクターをI/Oボード上のソケットから持ち上げ外します。
- ① ワイヤの下から持ち上げてください。

手順 10



- スパッツァーの平坦側を使い、左スピーカーを上部ケースに固定している接着を剥がします。

! 上部ケースに付けられたアルミ地の部分にスパッツァーを当てて、スピーカーを持ち上げてください。キーボード部分からこじ開けてしまうと、キーボードとスピーカーにダメージを与えてしまうことがあります。

- 左側スピーカーを上部ケースから取り出します。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。